

# 釧路市子ども・子育てに関する調査 ご協力のお願い

皆様には、日ごろから市政にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。

本市では、子ども・子育て支援法（平成 24 年法律第 65 号）に基づく新たな子ども・子育て支援の制度（以下「子ども・子育て支援新制度」といいます。）の下で、教育・保育・子育て支援の充実を図るため、5 年間を一期とする子ども・子育て支援事業計画を作成し、計画的に給付・事業を実施しています。

この事業計画が 2019 年度をもって計画期間を終えるにあたり、次期計画（計画期間：2020 年度から 2024 年度まで）を策定するための「子育て支援に関するニーズ調査」を実施いたします。

この調査に回答いただく方は、市内にお住まいのお子さんがいらっしゃるご家庭の中から無作為に選ばせていただいております。

お答えいただいた内容は、すべて無記名で統計的に処理しますので、個人が特定されたり、他の目的に使用されたりすることはありません。

ご多用のこととは存じますが、趣旨をご理解いただいたうえ、ご協力をお願いいたします。

2018（平成 30）年 12 月  
釧路市

## ご記入にあたってのお願い

- ① アンケートには、お子さんの身の回りの世話などを主にしている保護者の方がご記入ください。
- ② ご回答には、選択肢に○をつけてお選びいただく場合と、数字などを具体的にご記入いただく場合がございます。
- ③ 設問または回答した選択肢によっては、一部の方だけに回答をお願いする設問があります。その場合は説明文、設問の誘導に従ってお答えください。
- ④ “○”をつける数については、「あてはまる番号 1 つに○」や「あてはまる番号すべてに○」などの案内がありますので、設問ごとの案内に従ってください。  
※選択肢「その他」に○をつけた場合、具体的な内容を（ ）内に記入してください。
- ⑤ ご記入が済みましたら、3 つ折りし、同封の返信用封筒に入れて、

**1月8日（火）までにご返送ください。（切手は不要です）**

調査内容について不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

【お問い合わせ先】

釧路市 子ども保健部子ども育成課保育担当  
TEL（0154）31-4541（直通）

## 回答するにあたってお読みください

本調査は、この計画で確保を図るべき教育・保育・子育て支援の「量の見込み」を釧路市が算出するため、住民の皆さんの教育・保育・子育て支援に関する「現在の利用状況」や「今後の利用希望」を把握するために行うものです。

また、子ども・子育て支援新制度は、以下のような考え方に基づいています。

- ◆ この制度は、急速な少子化の進行、家庭・地域を取り巻く環境の変化に対応して、子どもや保護者に必要な支援を行い、一人ひとりの子どもが健やかに成長することができる社会を実現することを目的としています。
- ◆ 子どもの成長においては、乳児期におけるしっかりとした愛着形成を基礎とした情緒の安定や他者への信頼感の醸成、幼児期における他者との関わりや基本的な生きる力の獲得、学童期における心身の健全な発達を通じて、一人ひとりがかけがえのない個性ある存在として認められるとともに、自己肯定感を持って育まれることが重要です。子ども・子育て支援新制度は、社会全体の責任として、そのような環境を整備することを目指しています。
- ◆ 子ども・子育て支援は、以上のような考え方をもとに、保護者には子育てについての第一義的責任があることを前提としつつ、保護者が子育てについての責任を果たすことや、子育ての権利を享受することが可能となるような支援を行うものです。地域や社会が保護者に寄り添い、子育てに対する負担や不安、孤立感を和らげることを通じて、保護者が自己肯定感を持ちながら子どもと向き合える環境を整え、親としての成長を支援し、子育てや子どもの成長に喜びや生きがいを感じるような支援を目指しています。

### (用語の定義)

この調査票における用語の定義は以下のとおり

幼稚園	3～5歳児に対して教育を行う認可施設
認可保育所	保育を必要とする0～5歳児に対して保育を行う認可施設
認定こども園	幼稚園と保育所の機能を併せ持つ認可施設
小規模保育	少人数(6～19人)を対象に3歳未満児の保育を行う認可施設
家庭的保育	少人数(5人以下)を対象に3歳未満児の保育を行う認可施設
居宅訪問型保育	障害などで個別のケアが必要な場合や、施設が無くなった地域で保育を維持する必要がある場合などに、保護者の自宅で行う保育
ファミリー・サポート・センター 子育てサポートセンター・すくすく	依頼会員(子育てを援助してほしい人)と提供会員(子育ての援助ができる人)の会員同士が互いに助け合い、地域のなかで子育ての相互援助活動を行う事業

## お子さんとご家族の状況について

問1 お住まいの地区をご記入ください。(記入例：末広町、阿寒町阿寒湖温泉、音別町海光)

釧路市 ( )

問2 あて名のお子さんの生年月と、あて名のお子さんを含めたお子さんの人数を ( ) 内にご記入ください。

平成 ( ) 年 ( ) 月生まれ お子さんの人数 ( ) 人

問3 この調査票にご回答いただく方をお答えください。(あてはまる番号1つに○)  
続柄はあて名のお子さんからみた関係です。

1. 母親                      2. 父親                      3. その他 ( )

問4 この調査票に回答いただいている方の配偶関係についてお答えください(あてはまる番号1つに○)

1. 配偶者がいる                      2. 配偶者はいない

問5 あて名のお子さんと同居されている方をお答えください。(あてはまる番号すべてに○)  
続柄はあて名のお子さんからみた関係です。

1. 母親                      3. 祖父                      5. きょうだい  
2. 父親                      4. 祖母                      6. その他 ( )

問6 あて名のお子さんの子育て(教育を含む)に日常的に関わっている方をお答えください。  
(あてはまる番号すべてに○)

1. 父母ともに                      6. 保育所  
2. 主に母親                      7. 認定こども園  
3. 主に父親                      8. 小規模保育  
4. 主に祖父母                      9. 家庭的保育  
5. 幼稚園                      10. その他 ( )

問7 ご家庭の年間収入はどのくらいですか。世帯全員の合計でお答えください。(あてはまる番号1つに○)

1. 100万円未満                      5. 400万円以上500万円未満  
2. 100万円以上200万円未満                      6. 500万円以上700万円未満  
3. 200万円以上300万円未満                      7. 700万円以上1000万円未満  
4. 300万円以上400万円未満                      8. 1000万円以上

## 子育て環境について

問8 日頃、あて名のお子さんをみてもらえる親族・知人についてお答えください。(あてはまる番号すべてに○)

1. 日常的に祖父母等の親族にみてもらえる  
2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる  
3. 日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる  
4. 緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる  
5. いずれもない

問9 子育てをする上で、気軽に相談できる人・場所についてお答えください。(あてはまる番号すべてに○)

1. 祖父母等の親族	9. 学校教諭
2. 友人や知人	10. 市の教育委員会
3. 近所の人	11. 民生委員・児童委員
4. 子育て支援施設	12. かかりつけの医師
5. 児童相談所	13. 市の子育て関連担当窓口 (こども支援課・健康推進課など)
6. 保育士	14. その他 ( )
7. 児童館職員	15. 相談できる人・場所はない
8. 幼稚園教諭	

## 保護者の就労状況について

問10 保護者の就労状況(自営業、家族従事者を含む)についてお答えください。

(それぞれあてはまる番号1つに○)

【フルタイム】1週5日程度・1日8時間程度の就労  
【パートタイム・アルバイト】フルタイム以外の就労

	(1) 母親	(2) 父親
1. 就労している(フルタイム)	1	1
2. 就労している(パートタイム・アルバイト)	2	2
3. フルタイムで勤めているが、産休・育休・介護休業中	3	3
4. パートタイム・アルバイトで勤めているが、産休・育休・介護休業中	4	4
5. 以前は就労していたが、現在は就労していない	5	5
6. これまで就労したことがない	6	6

就労している保護者、産休・育休・介護休業中の保護者については、以下問11・問12の質問にお答えください。就労していない保護者については、以下問13の質問にお答えください。

問11 就労日数・時間(残業含む)などについてご記入ください。

「3.」「4.」については例:18時などのように24時間制でお答えください。

	(1) 母親	(2) 父親
1. 就労日数(1週当たり)	( )日	( )日
2. 就労時間(1日当たり)	( )時間	( )時間
3. 家を出る時刻	( )時	( )時
4. 帰宅時刻	( )時	( )時

※日数・時間等が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

問 12 **問 10 で「2.」「4.」のいずれか（パートタイム・アルバイトで就労）にお答えした方にお聞きします。**

パートタイム・アルバイトからフルタイムへの転換希望についてお答えください。  
 （それぞれあてはまる番号 1 つに○）

	(1) 母親	(2) 父親
1. フルタイムへの転換希望があり、 実現できる見込みがある	1	1
2. フルタイムへの転換希望はあるが、 実現できる見込みはない	2	2
3. パートタイム・アルバイトの就労を続けることを希望	3	3
4. パートタイム・アルバイトをやめて子育てや家事に専念したい	4	4

問 13 **問 10 で、「5.」「6.」のいずれか（現在、就労していない）にお答えした方にお聞きします。**

就労希望についてお答えください。（それぞれあてはまる番号 1 つに○）  
 また、下記で「2.」を選んだ方は（ ）内に数字でお答えください。

	(1) 母親	(2) 父親
1. 就労の予定はない （子育てや家事などに専念したい）	1	1
2. 1年より先、一番下の子どもが〇〇歳に なったところに就労したい ⇒（ ）歳になったところに就労したい	2 ( ) 歳	2 ( ) 歳
3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい	3	3

問 13-1 **問 13 で「2.」「3.」のいずれか（就労したい）にお答えした方にお聞きします。**

希望する就労形態についてお答えください。（それぞれあてはまる番号 1 つに○）

	(1) 母親	(2) 父親
1. フルタイム	1	1
2. パートタイム・アルバイト	2	2

問 13-2 **問 13-1 で「2.」とお答えした方は、希望する就労の日数・時間についてご記入ください。**

	(1) 母親	(2) 父親
1. 就労日数（1週当たり）	( ) 日	( ) 日
2. 就労時間（1日当たり）	( ) 時間	( ) 時間



## お子さんの平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について

問 14 あて名のお子さんの、平日、定期的な教育・保育事業の利用状況について、あてはまる番号すべてに○をつけ、利用日数・時間・時間帯をご記入ください。下記で、「12. 利用していない・利用したことはない」とお答えした方は問 15 へお進みください。

※用語の定義（2ページ）を参照してください。

事業 (あてはまる番号すべてに○)	利用状況 (例) 9時～18時のように24時間制でご記入ください。
1. 幼稚園	1 週当たり ( ) 日 1 日当たり ( ) 時間 ( 時～ 時)
2. 幼稚園の預かり保育 (通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ)	1 週当たり ( ) 日 1 日当たり ( ) 時間 ( 時～ 時)
3. 認可保育所	1 週当たり ( ) 日 1 日当たり ( ) 時間 ( 時～ 時)
4. 認定こども園	1 週当たり ( ) 日 1 日当たり ( ) 時間 ( 時～ 時)
5. 小規模保育	1 週当たり ( ) 日 1 日当たり ( ) 時間 ( 時～ 時)
6. 家庭的保育	1 週当たり ( ) 日 1 日当たり ( ) 時間 ( 時～ 時)
7. 一時預かり事業 (保育所等で一時的に子どもを保育する事業)	1 週当たり ( ) 日 1 日当たり ( ) 時間 ( 時～ 時)
8. 事業所内保育施設 (企業が主に従業員用に運営する保育施設)	1 週当たり ( ) 日 1 日当たり ( ) 時間 ( 時～ 時)
9. その他の認可外の保育施設	1 週当たり ( ) 日 1 日当たり ( ) 時間 ( 時～ 時)
10. ファミリー・サポート・センター (子育てサポートセンター・すくすく)	1 週当たり ( ) 日 1 日当たり ( ) 時間 ( 時～ 時)
11. その他 ( )	1 週当たり ( ) 日 1 日当たり ( ) 時間 ( 時～ 時)
12. 利用していない、利用したことがない	

問 14-1 教育・保育にかかる負担が無償（または上限ありの補助）となった場合、新たに利用したいと思うものはありますか。（あてはまる番号すべてに○）

- |  |   |
|--|---|
| 1. 幼稚園<br>(通常の就園時間の利用)                             | 7. 一時預かり事業<br>(保育所等で一時的に子どもを保育する事業)       |
| 2. 幼稚園の預かり保育<br>(通常の就園時間を延長して預かる<br>事業のうち定期的な利用のみ) | 8. 事業所内保育施設<br>(企業が主に従業員用に運営する保育施設)       |
| 3. 認可保育所   | 9. その他の認可外の保育施設                           |
| 4. 認定こども園  | 10. 居宅訪問型保育                               |
| 5. 小規模保育   | 11. ファミリー・サポート・センター<br>(子育てサポートセンター・すくすく) |
| 6. 家庭的保育   | 12. その他 ( )                               |

問 14-2 問 14 で利用している（利用したことがある）中での問題・課題についてお答えください。  
(あてはまる番号すべてに○)

- |                   |                        |
|-------------------|------------------------|
| 1. 料金             | 7. 教育・保育の時間帯           |
| 2. 施設や遊具などの安全面    | 8. 発達状況や個性・特性に応じた教育・保育 |
| 3. おやつや給食のメニュー    | 9. 行事や遠足などの実施内容        |
| 4. アレルギーへの対応      | 10. 保護者への対応            |
| 5. トイレや手洗い場等の衛生管理 | 11. 子育てなどに関する相談対応      |
| 6. ケガや病気などへの対応    | 12. その他 ( )            |

問 14-3 問 14-2 でお答えいただいた内容で最も気になった課題について具体的にご記入ください。

問 15 問 14 で「12. 利用していない・利用したことはない」とお答えした方にお聞きします。

その理由についてお答えください。（あてはまる番号すべてに○）

また、下記で「8.」を選んだ方は（ ）内に数字でお答えください。

- |                               |
|-------------------------------|
| 1. 保護者のどちらかがみることができる（できた）     |
| 2. 子どもの祖父母や親戚の人がみている（いた）      |
| 3. 近所の人や友人・知人がみている（いた）        |
| 4. 希望する教育・保育の事業に空きがない（なかった）   |
| 5. 経済的な理由で事業を利用できない（できなかった）   |
| 6. 延長・夜間等の時間帯の条件が合わない（なかった）   |
| 7. 事業の質や場所等、納得できる事業がない（なかった）  |
| 8. 子どもがまだ小さいため⇒（ ）歳になったら利用したい |
| 9. その他（ ）                     |

問16 現在、利用している、利用していないに関わらず、今後、平日、定期的に利用したいものについて、あてはまる番号すべてに○をつけ、希望する利用日数・時間・時間帯を(例)9時～18時のように24時間制でご記入ください。また、利用したい地区もご記入ください。(記入例：末広町、阿寒町阿寒湖温泉、音別町海光)

※なお、これらの事業には一定の利用料金がかかります。

事業	利用意向	利用したい地区
1. 幼稚園	1週当たり ( ) 日 1日当たり ( ) 時間 ( 時～ 時)	
2. 幼稚園の預かり保育 (通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ)	1週当たり ( ) 日 1日当たり ( ) 時間 ( 時～ 時)	
3. 認可保育所	1週当たり ( ) 日 1日当たり ( ) 時間 ( 時～ 時)	
4. 認定こども園	1週当たり ( ) 日 1日当たり ( ) 時間 ( 時～ 時)	
5. 小規模保育	1週当たり ( ) 日 1日当たり ( ) 時間 ( 時～ 時)	
6. 家庭的保育	1週当たり ( ) 日 1日当たり ( ) 時間 ( 時～ 時)	
7. 一時預かり事業 (保育所等で一時的に子どもを保育する事業)	1週当たり ( ) 日 1日当たり ( ) 時間 ( 時～ 時)	
8. 事業所内保育施設 (企業が主に従業員用に運営する保育施設)	1週当たり ( ) 日 1日当たり ( ) 時間 ( 時～ 時)	
9. その他の認可外の保育施設	1週当たり ( ) 日 1日当たり ( ) 時間 ( 時～ 時)	
10. 居宅訪問型保育	1週当たり ( ) 日 1日当たり ( ) 時間 ( 時～ 時)	
11. ファミリー・サポート・センター(子育てサポートセンターすくすく)	1週当たり ( ) 日 1日当たり ( ) 時間 ( 時～ 時)	
12. その他 ( )	1週当たり ( ) 日 1日当たり ( ) 時間 ( 時～ 時)	

問16-1 問16で「1. 幼稚園」または「2. 幼稚園の預かり保育」に○をつけ、かつ「3.」～「11.」にも○をつけた方にお聞きします。特に幼稚園(幼稚園の預かり保育をあわせて利用する場合を含む)の利用を強く希望しますか。(あてはまる番号1つに○)

1. はい	2. いいえ
-------	--------

## お子さんの土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な 教育・保育事業の利用希望について

問17 あて名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日の、定期的な教育・保育事業の利用希望について、あてはまる番号1つに○をつけ、利用希望がある場合は、利用したい時間帯を例：9時～18時のように24時間制でご記入ください。

※なお、これらの事業には一定の利用料金がかかります。

(1) 土曜日	
1. 利用する必要はない	
2. ほぼ毎週利用したい	} 利用したい時間帯 (         ) 時～ (         ) 時
3. 月に1～2回は利用したい	
(2) 日曜日・祝日	
1. 利用する必要はない	
2. ほぼ毎週利用したい	} 利用したい時間帯 (         ) 時～ (         ) 時
3. 月に1～2回は利用したい	

「幼稚園（認定こども園の教育部分を含む）」を利用されている方にお聞きます。

問18 夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育事業の利用希望について、あてはまる番号1つに○をつけ、利用希望がある場合は、利用したい時間帯を例：9時～18時のように24時間制でご記入ください。

※なお、これらの事業には一定の利用料金がかかります。

長期の休暇期間	
1. 利用する必要はない（必要はなかった）	
2. ほぼ毎日利用したい（利用したかった）	} 利用したい時間帯 (         ) 時～ (         ) 時
3. 週に数日利用したい（利用したかった）	



## お子さんの病気などの際の対応について

問 19 この1年間に、あて名のお子さんが病気などで普段利用している教育・保育事業が利用できなかった際の対処方法として、あてはまる番号すべてに○をつけ、( ) 内にそれぞれの日数をご記入ください。

対処方法（半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください）	日数（年間）
1. 父親が仕事を休んだ	( ) 日
2. 母親が仕事を休んだ	( ) 日
3. 親族・知人（同居者を含む）に子どもをみてもらった	( ) 日
4. 父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた	( ) 日
5. 病児・病後児保育を利用した	( ) 日
6. ベビーシッターを利用した	( ) 日
7. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	( ) 日
8. ファミリー・サポート・センター（子育てサポートセンター・すくすく）を利用した	( ) 日
9. その他（ )	( ) 日
10. 病気などで利用できなかったことはなかった	/

問 20 あて名のお子さんが、病気などで普段利用している教育・保育事業が利用できなかった際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。あてはまる番号1つに○をつけ、利用したかった日数についてご記入ください。

※なお、これらの事業には一定の利用料金がかかります。

※問 19 で「10. 」と回答した方もお答えください。

1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したかった⇒年間 ( ) 日程度 2. 利用したいとは思わない ⇒問 20-1 へ
---

問 20-1 **問 20 で「2. 」とお答えした方にお聞きします。**

**その理由についてお答えください。（あてはまる番号すべてに○）**

1. 他人に看てもらうのは不安 2. 親族が看てくれる 3. 保護者が休んで対応する 4. その他 ( )
--

問 21 **お子さんが病気などになったときの、会社を休む際のハードルについてお答えください。（あてはまる番号すべてに○）**

1. 子どもの看護を理由に休みが取れない 2. 自営業なので休めない 3. 休暇日数が足りないので休めない 4. 休暇を取得できない雰囲気がある 5. 自分が休んだ際、フォローできる社員がいない 6. フォローできる社員はいるが非協力的である 7. その他 ( )
--



問24 あて名のお子さんが、この1年間に保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、お子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことがあったかお答えください。（預け先が見つからなかった場合も含みます）  
 あった場合は、この1年間の対処方法としてあてはまる番号・記号すべてに○をつけ、その日数をご記入ください。

1年間の対処方法		日数（年間）
1. あった	ア.（同居者を含む）親族・知人にみてもらった	（ ）泊
	イ. 子育て短期支援事業を利用した （児童養護施設等で一時的に子どもを預かる事業）	（ ）泊
	ウ. 「イ.」以外の保育事業（認可外保育施設、ベビーシッター等）を利用した	（ ）泊
	エ. 仕方なく子どもを同行させた	（ ）泊
	オ. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	（ ）泊
	カ. その他（ ）	（ ）泊
2. なかった		

問24-1 問24で「1. あった→ア.（同居者を含む）親族・知人にみてもらった」とお答えした方にお聞きします。その場合の困難度についてお答えください。（あてはまる番号1つに○）

1. 非常に困難	2. どちらかという困難	3. 特に困難ではない
----------	--------------	-------------

### 釧路市の子育て支援事業の利用状況について

問25 あて名のお子さんの、現在の「子育て支援センター」（親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする場）の利用状況についてお答えください。あてはまる番号すべてに○をつけ、おおよその利用回数（頻度）をご記入ください。

1. 子育て支援センター（親子が集まって過ごしたり、相談をする場） ⇒1週当たり（ ）回 / もしくは、1ヶ月当たり（ ）回程度
2. その他市内で実施している類似の事業（子育てサークル、おもちゃライブラリー）など （具体名： ） ⇒1週当たり（ ）回 / もしくは、1ヶ月当たり（ ）回程度
3. 利用していない

問26 「子育て支援センター」の今後の利用希望についてお答えください。あてはまる番号1つに○をつけ、おおよその利用回数（頻度）を数字でご記入ください。

1. すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい ⇒1週当たり 更に（ ）回、 もしくは、1ヶ月当たり 更に（ ）回程度
2. 利用していないが、今後利用したい ⇒1週当たり 更に（ ）回、 もしくは、1ヶ月当たり 更に（ ）回程度
3. 新たに利用したり、利用日数を増やしたりしたいとは思わない

問27 釧路市の子育て支援に関する事業の満足度や、その理由についてお答えください。  
(それぞれあてはまる番号1つに○)

事業	利用した方			利用していない方		今後の希望	
	満足	普通	不満	知らなかった	知っていたが必要なかった	利用したい	利用する必要はない
地域子育て支援拠点事業 (子育て支援センター)	1	2	3	1	2	1	2
妊婦健康診査	1	2	3	1	2	1	2
乳児家庭全戸訪問事業	1	2	3	1	2	1	2
養育支援訪問事業 (居宅を訪問し、養育に関する指導・助言等を行う事業)	1	2	3	1	2	1	2
子育て短期支援事業 (児童養護施設等で一時的に子どもを預かる事業)	1	2	3	1	2	1	2
子育て援助活動支援事業 (ファミリー・サポート・センター事業)	1	2	3	1	2	1	2
一時預かり事業 (保育所等で一時的に子どもを保育する事業)	1	2	3	1	2	1	2
延長保育事業	1	2	3	1	2	1	2
病児・病後児保育事業	1	2	3	1	2	1	2
放課後児童健全育成事業 (放課後児童クラブ)	1	2	3	1	2	1	2
乳幼児健診事業	1	2	3	1	2	1	2
ひとり親家庭への支援事業 (児童扶養手当、医療費助成、ホームヘルパー派遣など)	1	2	3	1	2	1	2
子育て支援の情報提供 (子育て家庭支援ガイドブック作成、ホームページ、Facebookなど)	1	2	3	1	2	1	2
利用者支援事業 (子育て支援に関し、個別で情報提供や利用調整を行う事業)						1	2

問27-1 問27の事業を利用して感じた不満、あるいは利用しなかった理由について、具体的にご記入ください。

## 放課後の過ごし方について

問28 あて名のお子さんが、小学生になったとき、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいかお答えください。あてはまる番号すべてに○をつけ、（ ）内にそれぞれ必要とする週当たりの日数をご記入ください。

放課後に過ごさせたい場所	週当たりの日数	
	小学校低学年 (1～3年生)	小学校高学年 (4～6年生)
1. 自宅	週 ( ) 日くらい	週 ( ) 日くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週 ( ) 日くらい	週 ( ) 日くらい
3. 習い事 (ピアノ・学習塾など)	週 ( ) 日くらい	週 ( ) 日くらい
4. 同好会・少年団など	週 ( ) 日くらい	週 ( ) 日くらい
5. 児童館※1	週 ( ) 日くらい	週 ( ) 日くらい
6. チャレンジ教室※2	週 ( ) 日くらい	週 ( ) 日くらい
7. 放課後児童クラブ (学童保育)	週 ( ) 日くらい	週 ( ) 日くらい
8. ファミリー・サポート・センター (子育てサポートセンター・すくすく)	週 ( ) 日くらい	週 ( ) 日くらい
9. その他 (公民館、公園など)	週 ( ) 日くらい	週 ( ) 日くらい

※1 児童館で行っている放課後児童クラブの利用を希望する場合は「7. 放課後児童クラブ」に○をつけてください。

※2 地域の方々の協力を得て、放課後に小学校や公共施設で学習・スポーツ・文化芸術活動などを体験する取組です。保護者の就労にかかわらず、地域の小学生が利用できます。

問29 **問28で「7. 放課後児童クラブ (学童保育)」とお答えした方にお聞きします。**

利用希望についてお答えください。(それぞれあてはまる番号1つに○)

また、利用したい時間帯についてもご記入ください。

**◆ご参考**

**現在の釧路市の放課後児童クラブ**

【対象児童】小学校1年生～6年生、【料金】無料、【開設日】月曜日～土曜日までの毎日、

【開設時間】月曜日～金曜日は、下校後～午後6時まで、

土曜日及び休校日は、午前9時～午後6時まで、

春・夏・冬休み期間は、午前8時30分～午後6時まで

(1) 平日

1. 1～3年生の間は利用したい	利用が必要な時間帯 →下校時から ( ) 時まで
2. 1～6年生において利用したい	利用が必要な時間帯 →下校時から ( ) 時まで
3. 利用する必要はない	

(2) 土曜日

1. 1～3年生の間は利用したい	利用が必要な時間帯 → ( ) 時から ( ) 時まで
2. 1～6年生において利用したい	利用が必要な時間帯 → ( ) 時から ( ) 時まで
3. 利用する必要はない	

(3) 日曜日・祝日（釧路市では、現在、開設していませんが今後開設した場合）

1. 1～3年生の間は利用したい	利用が必要な時間帯 → ( ) 時から ( ) 時まで
2. 1～6年生において利用したい	利用が必要な時間帯 → ( ) 時から ( ) 時まで
3. 利用する必要はない	

(4) 夏休み・冬休みなどの長期休暇期間中

1. 1～3年生の間は利用したい	利用が必要な時間帯 → ( ) 時から ( ) 時まで
2. 1～6年生において利用したい	利用が必要な時間帯 → ( ) 時から ( ) 時まで
3. 利用する必要はない	

問 29-1 釧路市では現在、放課後児童クラブは無料（父母会費は別途徴収）で利用できますが、今後、放課後児童クラブの有料化に対する考え方についてご記入ください。

(1) 放課後児童クラブを有料で利用する場合（あてはまる番号1つに○）

また、利用したい場合、月額として支払える目安を（ ）内にご記入ください。

1. 1～3年生の間は利用したい→1ヶ月当たり（ ）円までなら払っても良い
2. 1～6年生において利用したい→1ヶ月当たり（ ）円までなら払っても良い
3. 利用しない

(2) 平日、土曜日、夏休み・冬休みなどの長期休暇期間中の開設時間が有料で延長になった場合（あてはまる番号1つに○）

また、利用したい場合、延長1時間として支払える目安を（ ）内にご記入ください。

1. 1～3年生の間は利用したい→1時間当たり（ ）円までなら払っても良い
2. 1～6年生において利用したい→1時間当たり（ ）円までなら払っても良い
3. 利用しない

(3) 日曜日・祝日等に開設した場合（あてはまる番号1つに○）

また、利用したい場合、日額として支払える目安を（ ）内にご記入ください。

1. 1～3年生の間は利用したい→1日当たり（ ）円までなら払っても良い
2. 1～6年生において利用したい→1日当たり（ ）円までなら払っても良い
3. 利用しない

## 育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について

問 30 あて名のお子さんが生まれた時の育児休業の取得状況をお答えください。(それぞれあてはまる番号1つに○)

(1) 母親	1. 働いていない	2. 育児休業を取得した (取得中である)	3. 取得していない
(2) 父親	1. 働いていない	2. 育児休業を取得した (取得中である)	3. 取得していない

「1.」とお答えになった方は問 32 へ、「2.」とお答えになった方は問 31 へお進みください。

問 30-1 **問 30 で「3.」とお答えした方にお聞きします。**

その理由についてお答えください。(それぞれあてはまる番号すべてに○)

	(1) 母親	(2) 父親
1. 職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった	1	1
2. 仕事が忙しかった	2	2
3. (産休後に) 仕事に早く復帰したかった	3	3
4. 仕事に戻るのが難しそうだった	4	4
5. 昇給・昇格などが遅れそうだった	5	5
6. 収入減となり、経済的に苦しくなりそうだった	6	6
7. 保育所等に預けることができた	7	7
8. 配偶者が育児休業制度を利用した	8	8
9. 子育てや家事に専念するため退職した	9	9
10. 配偶者や祖父母等にみてもらうなど、制度を利用する 必要がなかった	10	10
11. 職場に育児休業の制度がなかった (就業規則に定めがなかった)	11	11
12. 有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった	12	12
13. 育児休業を取得できることを知らなかった	13	13
14. 産前産後の休暇を取得できることを知らず退職した	14	14
15. その他 ( )	15	15

問 30 で「2.」とお答えした方にその状況についてお聞きします。

問 31 職場復帰した(職場復帰する)タイミングについてお答えください。(それぞれあてはまる番号1つに○)

	(1) 母親	(2) 父親
1. 年度初めの保育所等の入所に合わせた(合わせる予定)	1	1
2. それ以外だった	2	2

問 31-1 育児休業の実際の取得期間（予定を含む）、取得しなかった（したい）希望の期間について、それぞれ、あて名のお子さんの年齢でご記入ください。

(1) 母親	実際の取得期間（予定を含む）	子どもが（ ）歳（ ）ヶ月まで
	取得しなかった（したい）希望の期間	子どもが（ ）歳（ ）ヶ月まで
(2) 父親	実際の取得期間（予定を含む）	子どもが（ ）歳（ ）ヶ月まで
	取得しなかった（したい）希望の期間	子どもが（ ）歳（ ）ヶ月まで

問 31-1 で、実際の復帰と希望が異なる方にお聞きします。

問 31-2 「希望より早く復帰した（復帰する予定）方」はその理由についてお答えください。  
（それぞれあてはまる番号すべてに○）

	(1) 母親	(2) 父親
1. 希望する保育所等に入るため	1	1
2. 配偶者や家族の希望があったため	2	2
3. 経済的な理由のため	3	3
4. 職場の都合	4	4
5. 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため	5	5
6. その他（ ）	6	6

問 31-3 「希望より遅く復帰した（復帰する予定）方」はその理由についてお答えください。  
（それぞれあてはまる番号すべてに○）

	(1) 母親	(2) 父親
1. 希望する保育所等に入れなかったため	1	1
2. 自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため	2	2
3. 配偶者や家族の希望があったため	3	3
4. 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため	4	4
5. 子どもをみてくれる人がいなかったため	5	5
6. その他（ ）	6	6

問 31-4 育児休業からの職場復帰（復帰する予定）時に、短時間勤務制度を利用したか（利用するか）についてお答えください。（それぞれあてはまる番号1つに○）

	(1) 母親	(2) 父親
1. 短時間勤務制度を利用した（する）	1	1
2. 短時間勤務制度を利用しなかった（しない）	2	2

問 31-5 **問 31-4 で「2.」とお答えした方にお聞きします。**

短時間勤務制度を利用しなかった（利用しない）理由についてお答えください。  
（それぞれあてはまる番号すべてに○）

	(1) 母親	(2) 父親
1. 職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった	1	1
2. 仕事が忙しかった	2	2
3. 短時間勤務にすると給与が減額され、経済的に苦しくなる	3	3
4. 短時間勤務にすると保育所等の入所申請の優先順位が下がる	4	4
5. 配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した	5	5
6. 配偶者や祖父母等にみてもらえるなど利用する必要がなかった	6	6
7. 職場に短時間勤務制度がなかった（就業規則に定めがなかった）	7	7
8. 短時間勤務制度を利用できることを知らなかった	8	8
9. その他（ ）	9	9

**現在、育児休業中の方にお聞きします。**

問 31-6 お子さんが1歳になったときに必ず利用できる保育事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得するかについてお答えください。（それぞれあてはまる番号1つに○）

	(1) 母親	(2) 父親
1. 1歳になるまで育児休業を取得したい	1	1
2. 1歳になる前に復帰したい	2	2

**子育てのことやご家庭の経済的状況について、お聞きします。**

問 32 理想とする子どもの人数をご記入ください。

( ) 人
-------

問 33 理想とする子どもの人数の実現の見込みについてお答えください。（あてはまる番号1つに○）

1. 理想とする子どもの人数を実現している
2. 理想とする子どもの人数の実現は難しい
3. 今後実現したい

問 33-1 **問 33 で「2.」とお答えした方にお聞きします。**理想とする子どもの人数の実現が難しい理由についてお答えください。（あてはまる番号すべてに○）

1. 経済的に厳しい	7. 育児の負担が大きい
2. 子育てや教育にお金がかかりすぎる	8. 配偶者・親族等から家事・育児への協力を得られない
3. 仕事（勤めや家業）に差し支える	9. 配偶者が望まない
4. 仕事の将来に不安がある	10. 子どもを育てられる社会環境ではないから
5. 家が狭い	11. その他（ ）
6. 健康上の課題	

問34 子育てをする中で、不安に思っていること、困っていることについてお答えください。  
(あてはまる番号すべてに○)

- |                   |                       |
|-------------------|-----------------------|
| 1. しつけ・育児方法・接し方   | 7. 子どもを通じた近所付き合い      |
| 2. 子どもの健康や性格      | 8. 趣味や付き合いなど自分の時間が少ない |
| 3. 子どもの学校生活・教育環境  | 9. 配偶者・親族等の協力が得られない   |
| 4. 子どもの遊び場・生活環境   | 10. 経済的な面             |
| 5. 子どもにとっての地域の治安  | 11. その他 ( )           |
| 6. 子どもとふれあう時間が少ない | 12. 特にない              |

問35 普段の家計の状況について、もっとも近い状況をお答えください。(あてはまる番号1つに○)

- |                  |                    |
|------------------|--------------------|
| 1. 黒字 (毎月貯金している) | 4. 赤字 (貯金を取り崩している) |
| 2. 黒字 (貯金はしていない) | 5. 赤字 (借入れが必要な状況)  |
| 3. どちらでもなく、ぎりぎり  |                    |

問36 経済的な理由で食料を買えなかった経験はありますか。(あてはまる番号1つに○)

- |            |             |
|------------|-------------|
| 1. よくあった   | 3. まれにあった   |
| 2. ときどきあった | 4. まったくなかった |

問37 経済的な理由で暖房が使えなかった経験はありますか。(あてはまる番号1つに○)

- |            |             |
|------------|-------------|
| 1. よくあった   | 3. まれにあった   |
| 2. ときどきあった | 4. まったくなかった |

問38 子どもが病院等を受診した方が良かったと思っただが、受診させられなかった経験はありますか。  
(あてはまる番号1つに○)

- |        |         |
|--------|---------|
| 1. あった | 2. なかった |
|--------|---------|

問38-1 問38で「1. あった」とお答えした方にお聞きします。

子どもを受診させられなかった理由はなんですか。(あてはまる番号すべてに○)

- |                     |                 |
|---------------------|-----------------|
| 1. お金がなかった          | 5. 自分の健康状態が悪かった |
| 2. 保険証がなかった         | 6. 病院が遠い        |
| 3. 仕事で時間がなかった       | 7. 子どもが嫌がった     |
| 4. 他の子どもの世話で時間がなかった | 8. その他 ( )      |

問39 子育てに関する不安や悩みを解消するために重要だと思うことについてお答えください。  
(あてはまる番号すべてに○)

- |                         |                           |
|-------------------------|---------------------------|
| 1. 子どもと接する時間が十分あること     | 6. 子育て支援センターなどで気軽に相談できること |
| 2. 家族の理解・協力が得られること      | 7. 地域とのつながりを持つこと          |
| 3. 信頼できる身近な人と気軽に相談できること | 8. 学校生活・教育環境が整うこと         |
| 4. 経済的に安定すること           | 9. 遊び場・生活環境が整うこと          |
| 5. 時間にゆとりが持てること         | 10. その他 ( )               |

